学校質問紙調査結果

1 岡山市の特徴的な項目

(1)全国と岡山市の結果比較

領域	質問項目	小学校					中学校				
		H29		H28		【岡山市】昨年度との差(H29-H28)	H29		H28		【岡山市】昨年度との差(H29-H28)
		岡山市	全国との差	岡山市	全国との差		岡山市	全国との差	岡山市	全国との差	
指導方法等	授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた	100.0	1.0	100.0	1.2	0.0	100.0	1.7	100.0	2.2	0.0
	授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた	96.6	1.2	98.8	3.9	△ 2.2	97.4	3.1	94.7	1.7	2.7
	各教科等の指導のねらいを明確にした上で，言語活動を適切に位置付けた	85.4	△ 7.9	88.8	△ 4.0	△ 3.4	86.9	△ 3.6	92.1	3.2	△ 5.2
	学習規律(話の聞き方・話し方，チャイム厳守)の維持を徹底した	97.7	1.0	92.1	△ 4.5	5.6	97.4	△ 0.6	94.7	△ 3.2	2.7
学力向上	図書館資料を活用した授業を行った	100.0	0.2	99.9	2.2	0.1	97.4	6.5	100.0	11.2	△ 2.6
	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った	63.0	△ 12.7	55.0	△ 19.6	8.0	100.0	2.5	97.4	0.3	2.6
	放課後を利用した補充的な学習サポートを実施した	31.4	△ 29.7	28.0	△ 32.3	3.4	92.1	9.1	81.6	0.1	10.5
調査の活用	全国学力・学習状況調査の自校の結果を，学校全体で教育活動を改善するために活用した	95.5	△ 1.1	97.8	0.8	△ 2.3	100.0	5.6	94.7	△ 0.1	5.3
	全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について，保護者や地域の人たちに対して働きかけを行った	95.5	5.6	98.9	8.7	△ 3.4	94.7	11.3	89.5	5.7	5.2
家庭学習	児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにした	95.5	3.3	92.2	0.3	3.3	76.3	△ 12.0	79.0	△ 8.8	△ 2.7
	保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行った	97.8	0.8	97.8	0.5	0.0	94.7	7.1	76.3	△ 11.2	18.4
地域・学校間連携	近隣の中学校・小学校と教育目標を共有する取組を行った	88.7	30.6	84.2	29.7	4.5	84.2	20.8	86.9	25.4	△ 2.7
	近隣の中学校・小学校と授業研究を行うなど，合同して研修を行った	89.8	24.2	82.0	19.5	7.8	92.1	17.3	92.1	19.6	0.0
	地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った	86.5	2.3	83.1	0.7	3.4	44.8	△ 24.1	55.2	△ 9.9	△ 10.4
	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれる	98.9	0.3	97.8	0.1	1.1	100.0	2.5	92.1	△ 3.5	7.9
研修等	模擬授業や事例研究など，実践的な研修を行っている	98.9	3.3	92.2	△ 0.6	6.7	76.3	△ 13.7	63.2	△ 21.0	13.1
	校長が校内の授業を週2回以上見て回っている	87.6	△ 6.9	89.9	△ 4.3	△ 2.3	63.1	△ 20.4	65.8	△ 16.8	△ 2.7

（２）学校質問紙調査結果から

〈関連項目の結果の状況〉

【指導方法等】

◇　「授業これだけは！」に関連した項目（めあて，まとめ）では，小・中学校ともめあてについては完全実施，まとめについても，ほとんどの学校で実施されている。

◇　言語活動の位置付けに関する項目では，小学校・中学校とも前年度を下回っており，全国平均も下回っている。

◇　学習規律に関する項目では，小・中学校ともに昨年度を上回っており，小学校については全国平均を上回っている。

【学力向上に向けた取組】

◇　学校図書館の活用に関する項目では，授業における図書館の活用状況を良好に維持している。

◇　「将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導」の実施状況については，小学校では昨年度より改善されているが，全国平均との差は依然として開きがある。

◇　放課後の補充学習に関する項目では中学校では昨年度から１０ポイント以上の上昇であり，全国平均を上回っているが，小学校では全国との差が依然として大きい。

【調査の活用】

◇　全国学力・学習状況調査の活用については，校内外での活用において，中学校では前回を上回るとともに全国平均を上回っている。

【家庭学習】

◇　家庭学習の方法等の指導状況については，小学校では昨年度を上回るとともに全国平均を上回っている。しかし中学校では，昨年度を下回るとともに，全国平均との差が大きく開いている。

◇　保護者に対しての働きかけについては，中学校においては大きな改善が見られるとともに，全国平均を上回っている。

【地域・学校間連携】

◇　学校間連携については，全国平均を小学校では３０ポイント以上，中学校では２０ポイント以上上回っており，良好な状況が維持されている。

◇　外部人材の活用に関連した項目において，小学校では，昨年度よりも状況が改善されているが，中学校では昨年度を１０ポイント以上下回り，全国平均を２０ポイント以上下回っている。

【研修等】

◇　実践的な研修については，小学校では昨年度を上回り，全国平均も上回っており，多くの学校で実践的な研修ができている。中学校においては，昨年度を大きく上回っているが，全国平均との差が依然として大きい。

◇　校長が授業を見て回ることについては，小・中学校ともに昨年度を下回り，全国平均も下回っている。特に中学校においては，全国平均と２０ポイント以上の差がある。

今後の取組（本調査結果を受けて直ちに取り組むこと）

○　「学習や生活に関する改善プラン」を岡山市のホームページに掲載
○　「全国学力・学習状況調査結果【岡山市の状況】」を岡山市のホームページに掲載
○　教育課程研究協議会において全国学力・学習状況調査の総括
○　「学習や生活に関する改善プラン」を基にした中学校区の協議
○　児童生徒が調査結果を基に振り返りシートを活用し，学習改善に向けた目標を設定
○　「学力向上プロジェクト」によるよりよい授業に向けた取組
○　指導教諭による「子どもが輝く学びづくりプロジェクト」への参加及び指導助言
○　誤答分析資料の作成と配付